



第一礼拝次第

メッセージ：郭永東牧師

通訳：尹笑英姉

前 奏

頌 栄
主の祈り

5 4 0

会 衆
会 衆

ブレイズ

「世の初め」
「主は道をつくられる」

会 衆

聖書朗読

ヨハネの手紙第三 1-15
(新約聖書 p449)

司 会

祈 禱

賛 美

聖歌 5 8 4

司 会

会 衆

メッセージ

「真理に歩んでいる人」

牧 師

祈 禱

賛 美

3 5 4

牧 師

会 衆

献金祈禱

報 告

頌 栄

祝 禱

新生 6 7 2 b

司 会

牧 師



第二礼拝次第

メッセージ：渡真利彦文牧師

聖書：サムエル記上 1 章 (旧約 p428)

メッセージ：「サムエルの誕生」

ブレイズ：「御手の中で」

「主は道をつくられる」

賛美：新生 586 新生 522



ファミリー礼拝

メッセージ：渡真利千佳子姉

司会・奏楽：学生会

聖 書：マタイ 5：17～20

メッセージ：「自由にする律法」

<巻頭言>

牧師 郭永東

沖縄の冬は思ったより寒く感じます。もちろん、韓国の方が気温は低いです。しかし、体感上沖縄の冬もソウルの寒さと変わらない程寒く感じます。人々は韓国は寒いから、韓国人は寒さに強いと考えているようです。しかし、私が沖縄に来て感じたことは、沖縄の方が寒さに強いということです。私がダウンジャケットを着ている時、他の人々は、長袖のTシャツを着ています。確かに私の方が寒さに弱いようです。うちなーんちゅになるためには、まだ時間がかかりそうです。沖縄であれ、ソウルであれ、冬の過ごし方は違いますが、結局寒さを凌ぎ、冬は過ぎていきます。いつ終わるかなと心配しますが、いつものように終わりの時は来ます。神様は、自然を通して、神様の約束は変わらないことを示しておられます。春、夏、秋、冬が繰り返され、太陽の昇り、沈みも繰り返されます。今日がどんなに疲れ果てて、絶望的な一日だったとしても、明日の日は再び昇ります。冬至の夜が長くて、どんなに暗くても、日が昇ると明るい光が照らされます。ですから、私たちには希望があります。去年はこれまで経験したことのないコロナ禍で、みんなが大変だったと思います。マスクを着用し、3密を避ける、このような生活がいつまで続くのかと考えたこともあります。しかし、寒い冬をそれぞれの方法で凌ぐように、このコロナも力を出して凌いでみましょう。必ず、終わりはあり、再び元の生活に戻ることを期待しつつ、お祈りします。